

【学校朝会】市総体の表彰式と校長講話を行いました

本日、学校朝会を開き、先月29日から開催された呉市総合体育大会の表彰式を行いました。体育館には、見事な成果を収めて賞状を手にした生徒たちの誇らしげな表情があふれ、全校生徒から温かく大きな拍手が送られました。惜しくも敗れてしまった部活動も含め、安浦中学校の誇りを胸に最後まであきらめずに戦い抜いたすべての運動部の健闘を、



心から称えたいと思います。本当にお疲れ様でした。

続く校長講話では、3年生が見せてくれた「最後まで絶対に諦めない姿」が後輩たちの心に深く刻まれたこと、そして勝敗に関わらずこれまでの地道な努力は決して否定されるものではないというメッセージが伝えられました。

また、先日の変化を終えた中間試験を振り返り、



『論語』の言葉を引用しながら、日頃の習慣や努力を意味する「習い（ならい）」の大切さについて話がありました。これからは家庭学習の習慣を身に付ける「安中タイム」などを通して、一人ひとりが次の目標へ向けて「努力の

『論語』：「^{せい}性は^{あい}相^{ちか}近^{なり}きなり、^{なら}習^いいは^{あい}相^と遠^{なり}きなり。」

つまり、「人間の生まれつきの素質にそれほど大差はない。しかし、その後にどんな習慣を身につけ、どれだけ努力したかという『習い』によって、人としての成長や将来に天と地ほどの大きな差が生まれるのだ」と説いています。